

## 設 立 趣 旨 書

私たちの通う学校には、多様性や個性など様々な理由でヘルプマークをはじめとした配慮を必要とする方々を表すマークを使用している生徒が多く在籍しています。

また、日本さらには世界にも多くいます。しかし、様々なマークに対する認識の違い、サポートする気持ちはあるが、「いつ」「どこで」「どうして欲しいのか」わからない方が多いと思います。

私たちは、マークだけでは伝わらないことを伝えるために必要なことを考えました。

結果、お互いが「支え合う」を広げることで障害者マークの認知度向上につながると考え「おたすけバッジ」を考案しました。「助けたい」「助けてもらいたいが上手く伝えられない」この2つの思いを「おたすけバッジ」を掲示することで表現してもらいたいと思います。

障害者マークに対する適切な認知があまりできていないというのが現状です。

「おたすけバッジ」は、具体的な「こうしてほしい!」という意思表示として考えています。

私たちは「おたすけバッジ」の頒布をはじめあらゆる手段での普及啓発活動を行ってまいります。この「おたすけバッジ」が、広がることにより、困ったときにたすけてもらいやすい環境ができていく。そして、おたすけする方々は状況に応じて対応がすることができ、バッジを確認して寄り添い合いの可能な社会になることを目的としています。

たすけを必要としている方々とおたすけする双方が気持ちよく支え合えるように「おたすけバッジ」を通して繋がっていただけたらと思っています。

また、公益性を考え特定非営利活動法人の設立を考えました。

令和6年 9月18日

法人の名称 特定非営利活動法人 おたすけ工房

設立代表者 山影 菜花